

ね り も の れ ん ず か ん

練物連図鑑

― 祭りを彩る、人・衣装・道具 ―

宇佐八幡宮の秋季例大祭に集結する
笠居郷の19の練物連が掲げる地区
の誇りを篤とご覧あれ。



行列をつくる小奴



蝶口の子どもが叩く獅子の太鼓

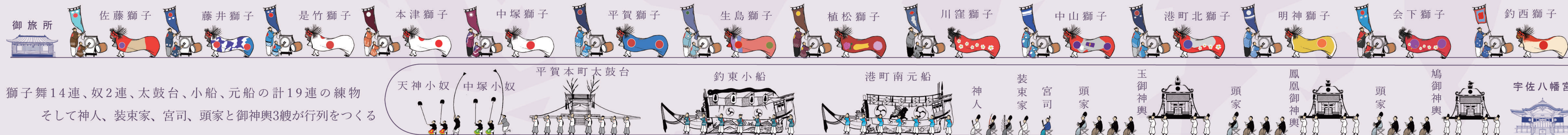


大勢で押しながらかり歩き飾り船

現在情報収集中につき、画像・テキストのない箇所があります。予めご了承ください。収集にご協力いただける方は下記アドレス(宇佐八幡宮)までご連絡ください。

usahachimangu@gmail.com

秋季例大祭神輿行列順(2025)



笠居郷の練物連

笠居郷でも宇佐八幡宮では通常奉納しない練物連もある。下笠居の亀水地区は本村(地下)、塩家、小坂、弓弦羽の4つの獅子組があり、加茂神社の秋季例大祭にて奉納する。鬼無町鬼無では北部が太鼓台、西部が獅子組で、熊野権現桃太郎神社の秋季例大祭にて奉納する。

さらに、笠居郷の練物連は以前には他の種類も見られた。江戸時代には馬子と呼ばれる練物の記録が残る。現在では小奴のみ残るが、山口地区には大奴があった。時代と共に練物は姿形を変えながら、地区の誇りを継いでいる。

港町南元船

キャッチコピー
「元船が明われないと祭りが始まらない」と言われるほど。昔は明わることが認められることが栄誉だった。

釣東小船

キャッチコピー
石清水八幡宮から譲り受けたという船を今も大事に使いながら、子どもたちも多く参加し賑わっている。

平賀本町太鼓台

キャッチコピー
笠居郷では唯一の太鼓台。ホイッスルで合奏しながら、みなで息を合わせて繰り歩く様かっこいい。

中塚小奴

キャッチコピー
奴も多い高松の中では珍しい「投げ奴」が見られる。

天神小奴

キャッチコピー
早いうちから女性や地区外の人を積極的に受け入れ、面倒見が良い。おかえりでは伊勢音頭でお出迎え。

是竹獅子組

キャッチコピー
是竹から獅子を教わった、という地区も多く、一つひとつの演目を丁寧に磨いていく。

佐藤獅子組

キャッチコピー
頭家に逢う時には鬼無の3獅子組は足並みを揃えて奉納。

藤井獅子組

キャッチコピー
元は佐藤獅子組と一緒にだった。

川窪獅子組

キャッチコピー
神在川宮町の住吉神社を拠点に活動する雌獅子。

平賀獅子組

キャッチコピー
稲倉神社で奉納する神楽でも獅子を遣う平賀獅子神楽保存会。老若男女が協働してお祭りを支える。

会下獅子組

キャッチコピー
笠居郷に2つしかない雌獅子の一つ。顔を隠したり、小刻みに動くメスらしいお淑やかな獅子。

港町北獅子組

キャッチコピー
2025年の頭家獅子をきっかけに再始動した港町北獅子組。港町に留まらず、地区外からお祭りに集結する。

明神獅子組

キャッチコピー
広範囲を巡り力強く舞っていく。

植松獅子組

キャッチコピー
盛り上がりや砂利を散らしながら、勇猛に舞う。宵祭りはいつも最後まで拝観前で無い続ける。

中山獅子組

キャッチコピー
宇佐神宮の勅使祭での露払いも助めたことのある由緒正しき獅子組。

生島獅子組

キャッチコピー
後半のダイナミックさと、「芸」と呼ばれる犬のような足を掻くような自由な動きが本番でも見られる。

本津獅子組

キャッチコピー
2024年には日本最北端の宇佐八幡宮へ奉納に行くなど、アクティブに飛び回るオール本津の獅子。

中塚獅子組

キャッチコピー
鳥居の前で獅子舞を奉納すると、最後は宇佐八幡宮の拝殿まで一気に階段を駆け上っていく様は正格。

釣西獅子組

キャッチコピー
少数精鋭で活躍する釣の獅子組。